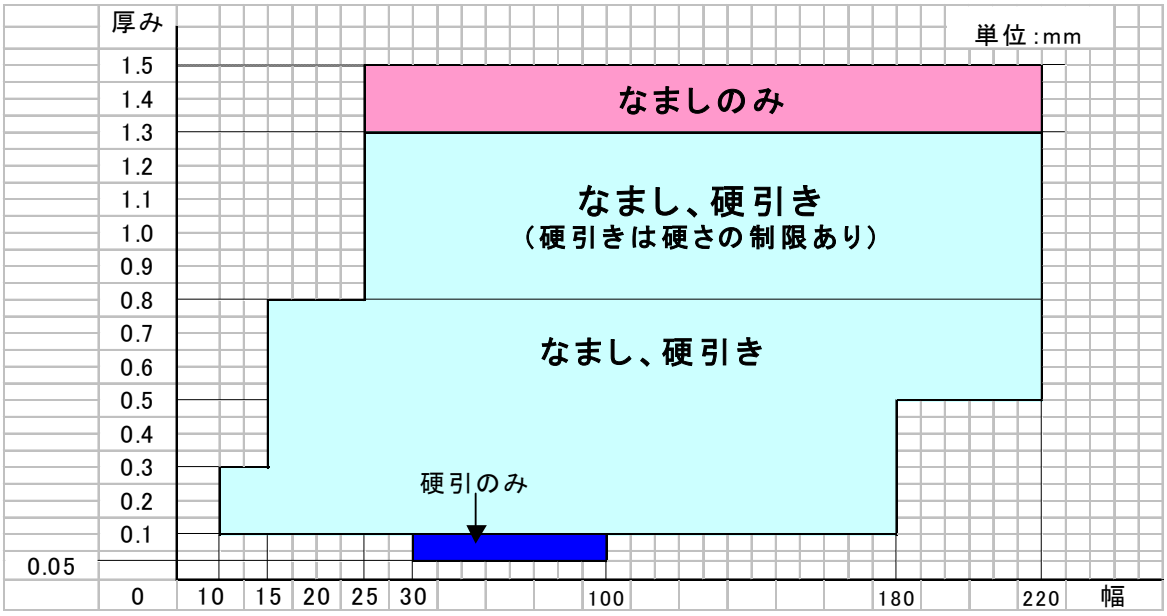
ヨシナカ新聞

９ 月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
東京営業所
TEL:03-3555-0796
FAX:03-3553-8444

富山工場　磨帯鋼(SK5) 製造可能範囲表



先月号では大阪工場の製造可能範囲表を掲載させて頂きましたが、今月と来月号では富山工場の製造可能範囲をお知らせします。

上記表はＳＫ５を使った磨帯鋼の製造可能範囲です。他にＳＫ４等数種の材料も扱っておりＳＫ５と若干範囲が変わりますのでご必要時にはお問い合わせください。

この磨帯鋼は幅約１メートルの板（コイル）の材料をスリットして、圧延、熱処理の工程を施します。

◆熱処理（焼き鈍(ナマ)し）

◆硬仕上(カタ)（圧延仕上げ）

仕上。

の２種類があり、お客様のご要望に合わせて仕上げております。

なお、来月号では焼入材の製造可能範囲をお知らせしようと思っています。

ステンレス鋼種の規格番号の意味

鋼種の頭の数字には意味があります。３０４はＳＵＳ３０４、３０３はＳＵＳ３０３、４０４は『②』、４０３は『③』の４０３台、４０４台に属します。

① 200台：Fe-Cr-Ni-Mn系
② 300台：Fe・Cr・Ni 系
③ 400台：Fe・Cr 系
④ 600台：Fe・Cr・Ni 系析出硬化型

参考：Fe(鉄)、Cr(ｸﾛﾑ)、Ni(ﾆｯｹﾙ)
Mn(ﾏﾝｶﾞﾝ)

ステンレス豆知識

街でペットボトルを持って歩いている方を見かける時があります。あの中身がステンレスだったらどれくらい重くなるのか。SUS304の比重は7.93とJISに載っています。この比重というのは１立方平方センチメートルの水の重さ1グラムに対しての他の物質の重さの比率をいいますので、SUS304のの重さは7.93ｇになります。ということは水1リットル(1kg)と同じ容積のSUS304の重さは7.93kgになります。もしステンレスが飲めても重たくて誰も持ち歩かないでしょうね。冗談はさておき、参考までに主な鋼種の比重は下記の通りです。

比　重

オーステナイト系		フェライト系		マルテンサイト系	
鋼種	比重	鋼種	比重	鋼種	比重
SUS304	7.93	SUS430	7.70	SUS410	7.75
SUS303CU	7.93			SUS420J2	7.75
SUS316	7.98				
SUS316L	7.98				

１０９年前の世界一早い男の記録は・・・

先月、フィンランドのヘルシンキで世界陸上が行なわれ、夜遅くまでテレビ観戦していました。メダルに挑戦する選手達の一生懸命な姿に感動しながら、頑張れニッポンと心の中で応援していました。

そんな中、男子１００Ｍ予選を観ていた時に、昨年はアテネオリンピックが開かれたことを思い出しました。確か近代オリンピックはアテネから始まった筈。最初のアテネオリンピックの男子１００Ｍの優勝記録は何秒だったんだろう。早速調べました。左の表（１９５６年以前は記録が更新された大会の記録を中心に表示しました）の通り最初のアテネ大会は１２秒０。現代の世界記録はそれより２秒少々早くはなっていますが、思っていたより良い記録だったので意外でした。あと、記録が１００分の１秒代まで表示されるようになったのはミュンヘン大会以降だったこともちょっとした発見でした。

開催年	開催地	100M記録
1896	アテネ	12秒0
1900	パリ	11秒0
1908	ロンドン	10秒8
1924	パリ	10秒6
1932	ロサンゼルス	10秒3
1960	ローマ	10秒2
1964	東京	10秒0
1968	メキシコ	9秒9
1972	ミュンヘン	10秒14

開催年	開催地	100M記録
1976	モントリオール	10秒06
1980	モスクワ	10秒25
1984	ロサンゼルス	9秒99
1988	ソウル	9秒92
1992	バルセロナ	9秒96
1996	アトランタ	9秒84
2000	シドニー	9秒87
2004	アテネ	9秒85